

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
78冊 (76人) 9/6 現在

(自分に自信と夢を～いまをだいじに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

先週は授業開始早々から、台風による休校を余技なくされましたが、今週は月曜日から通常通りの学習を行うことができました。

校外学習に出かける学年あり、研究授業が行われた学年あり、オリンピックを迎えた学年ありと、内容は様々ですが、学びの秋へ順調な滑り出しでした。

明日は早朝から作業が予定されています。可能な範囲で御協力をお願いします。



草も生長しています
(2024/9/13 撮影)

「学びの秋へ」 ～ 全国学力・学習状況調査結果 ～

6年生の児童を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、7月末日に届きました。この調査は、国や自治体の教育施策の成果、学校の教育実践の成果と課題を確認し、その後の対応に活かすことを目的として、平成19年度から小学校6年生と中学校3年生の全て（途中、抽出調査の年度もあり）の児童・生徒を対象に4月に実施されます。学力の調査としては、国語・算数。学習状況の調査としては質問紙調査（web で回答）が行われます。

本年度の学力の状況は、国語・算数とも全国平均を下回りました。結果を分析したところ、国語・算数とも「問われていることに対して、条件にそって文章で説明すること」については、昨年度の結果から伸びが見られました。課題として「問題の意味を取り違えている」状況が見られます。顕著に表れているのは4択問題。4つの選択肢のうち明らかに誤りと分かる2つの選択肢を選んだ児童はほとんどいませんが、残り2つの選択肢を選ぶ段階で誤答となった児童が、かなりの数見られました。一方で、解答に要した時間は「余った」と答えた児童が大半であり、出題の意図を慌てず正確に捉えることが今後の授業の中で求められます。

本年度の学習の状況については、学校教育目標にも掲げた「夢」に関する内容、また、「ICT活用」「教科の学習は好き」「教科の学習は役に立つ」などの項目については国や熊本県の平均値を上回りました。一方で、学習内容が「よくわかる」の項目は、課題を残しました。

今回の調査は6年生の実態ですが、大津小学校で5年間の学びを経た6年生の実態であり、学校全体の実態と捉えることができます。今後の教育活動で意図的・計画的な取組をすすめていきます。

おかえりなさい！！ —赤崎選手来校—

パリオリンピック・男子マラソンに出場した本校卒業生の赤崎暁さんが、昨日、大津小学校を訪問され児童の応援メッセージに対する御礼を述べられました。

応援ビデオを作成した3年生は、体育館で得意のフラッグダンスで出迎え、大健闘の赤崎さんへ改めてエールをおくりました。

なお、学校の玄関には、赤崎選手、バレーボールの古賀選手の等身大パネルも設置しています。



おかえりなさい！
(2024/9/12 撮影)